

平成 28 年度関東東海北陸農業研究推進会議畜産草地部会現地研究会
－開催要領－

1. 開催趣旨

平成 27 年 3 月に農林水産省が決定した研究基本計画では、「生産現場が直面する課題を速やかに解決するための研究開発」を最優先課題に位置づけ、ニーズに直結した研究開発を推進することとされている。その中の酪農や畜産に関連する部分において、「搾乳ロボットを核とした精密飼養管理システムの開発（H28 大課題 7 重点事項）」、「飼料調製を行う TMR センター」などに関する研究開発を推進することとされている。さらに、地域の雇用・所得の増大に資する 6 次産業化関連技術の開発の必要性も指摘されている。

そこで、今回の現地研究会では、上記の研究開発に係る施設や課題の検討ならびに専門家・生産者との情報交換をすることで、関東東海北陸地域における畜産草地関連の研究ニーズ把握や関係機関の協力連携構築に資する。

2. 開催日時 平成 28 年 9 月 29 日（木）13:30～9 月 30 日（金）12:00

3. 開催場所 農研機構畜産研究部門畜産飼料作研究拠点 GG ホール等
(栃木県那須塩原市千本松 768)
(有) 那須高原今牧場 (栃木県那須郡那須町大字高久甲)
(株) 那須の農 (栃木県那須郡那須町大字漆塚)

4. 主 催 関東東海北陸農業研究推進会議畜産草地部会

5. 内 容

第 1 日目 9 月 29 日（木）

開 会	13:30
挨 拶	13:30～13:40
搾乳ロボットの導入と課題	
・搾乳ロボットの普及状況と利用実態(農研機構畜産研究部門 石田三佳)	13:40～14:20
・レリー社の搾乳ロボットの特徴 (コーンズ・エージー 西村雅夫)	14:20～14:40
・デラバル社の搾乳ロボットの特徴 (デラバル 有吉忠広)	14:40～15:00
・ゲア社の搾乳ロボットの特徴 (オリオン機械 田中昌幸)	15:00～15:20
総合討論	15:20～15:50
(休憩・移動・身支度)	
搾乳ロボットの視察	16:10～17:00

第2日目 9月30日(金)

現地検討

集合(畜産研究部門畜産飼料作研究拠点正面玄関前) 8:50

出発(大型バス1台) 9:00

視察

・那須高原今牧場(チーズ工房、販売コーナー有) 9:30~10:30

・那須の農(TMRセンター) 11:00~11:45

解散(JR那須塩原駅前;新幹線駅) 12:15

6. 参集範囲 関東東海北陸地域公設試・行政普及部局、農林水産省生産局・農林水産技術会議事務局・関東農政局・東海農政局・北陸農政局、独立行政法人、農研機構、その他部会長が認める者

7. 現地検討の定員 50名(バスの乗車定員)

8. その他

申し込み〆切 平成28年9月9日(金曜日)

*中央農研Webページよりお申し込みください。交流会も予定されています。

http://www.naro.affrc.go.jp/narc/kenkyu_koryu/news/063963.html

事務局 農研機構畜産研究部門 企画管理部 企画連携室 担当:渡辺伸也

〒305-0901 茨城県つくば市池の台2

TEL:029-838-8618 FAX:029-838-8606

電子メール:xx145547@affrc.go.jp